



狛江市議会議員

2018. 4・11

山本あき子の議会報告

<http://yamamotoakiko.seikatsusha.me>

〈議会報告〉

【人権とハラスメント】

市役所内で起きたセクシャルハラスメントは、公文書によって複数の相談者の存在が明らかになっています。市長は責任者として被害者への謝罪、真相解明や市政への信頼回復の道筋を示すべきでしたが、自身にかかる疑惑を晴らすことに終始し「性的関心ではない」「家父長制」「九州の文化」「文書は私文書」「職員が想像を交えて書いた」といった発言で一層の混乱を招きました。自ら提案した給与2か月20%返上についてはハラスメントに対するものではなく、市政を混乱させたことへの「あがない」であるとしていますが、金額や期間の根拠については不明です。さらに文書を作成した職員への聞き取りを行い、虚偽が判明すればペナルティーを課すとも発言しています。狛江・生活者ネットは予算委員会での審議を通し一貫して「セクハラ、パワハラは深刻な人権侵害である」ことを強調し、最終日には真相解明を求めて百条委員会の動議を提出しましたが9対11で否決されました。真相の解明は遠のき、議会としての役割も果たせない状況です。予算討論では他の議員から「こんな事で大切な予算審議の時間を費やすのは遺憾」「騒ぎが長引くことは市民のためにならない」など、真相を解明せずに事態収束を図り、ことさら矮小化する発言や「守秘義務を犯した公務員には懲罰もある」など圧力とも取れる発言もありました。市民の人権を守る事が行政の使命であり、そのための事業と予算であることを考えれば、組織におけるセクハラとパワハラを看過することは出来ません。多くの有益な予算計上もあるなか苦渋の選択ではありましたが、市政のチェックを行うのが議員の役割であるという原点に立ち返り、一般会計予算を否決しました。

【平成30年度一般会計予算】

超高齢少子社会の到来に備え今後増え続ける民生

費などを見越して、事業の廃止や見直しによる縮小のビジョンともいうべき具体策が必要です。人件費については物件費も含めた詳細の把握、正規職員と嘱託職員、同一労働同一賃金の影響も考えて適正値を決め市民に示すべきです。えきまえ三角広場については防災時の活用が重要との視点を忘れず、安心安全課との連携を要望します。子ども若者施策としては、子ども食堂運営費補助の速やかな計上や若者支援ガイドの策定、プレーパークでの市民と行政の協働事業の進展、(仮称)北部児童館での中高生センター機能充実への取り組みを高く評価します。学校の標準服については指定業者選定事務取扱要領が策定されたことを評価し、今後は多様性に配慮しスカートかズボンを選べる対応を要望します。自殺対策計画策定では関係機関と連携し「児童生徒のSOSの出し方に関する教育」を位置づけ、SNSで死にたいとつぶやく若者が事件に巻き込まれないような対策が必要です。

〈一般質問〉

◇子どもを受動喫煙から守るために

受動喫煙と三次喫煙の有害性、禁煙治療に関する知識の普及啓発、妊婦への禁煙指導について市の認識を質しました。

◇ティスレクシアや場面緘黙

学びたい気持ちを支える体制を

どのような特性があっても学ぶ権利や楽しさが奪われてはなりません。通級の間に進んだ授業内容のフォローも保護者の声と共に要望しました。

狛江・生活者ネットワーク

狛江市東和泉 1-1-25-101

TEL03-3430-1302 fax 03-5761-0678

E-mail

komanet.seikatusya@nifty.com